

昔の遊びコーナー

福笑い・すごろく・めんこ・けん玉など、昔なつかしいおもちゃを楽しむコーナーです。

とき 1月5日回～26日回

ところ 1階ロビー



考古学ワークショップ 拓本に挑戦!

ホンモノの土器からとった拓本でオリジナルのしおりを作ります。

とき 1月25日
午後1時30分～3時

ところ 研修室

対象 4歳以上(小学生以下は保護者同伴)

定員 15人

参加費 無料

申し込み 1月24日迄までに電話、メールで住所・氏名・電話番号・人数を博物館(☒museum@city.gamagori.lg.jp)へ。



かけらは時代を超えて

形原遺跡は蒲郡で最も古い土器が見つかった遺跡です。ここで見つかった縄文土器には、うずまきやギザギザなど、ふしぎな模様がたくさん付いています。縄を転がしたり、竹の筒や貝がらを押ししたり引っかいたりして描かれた模様です。縄文時代の人びとは、こうした華やかな土器を使って物を蓄えたり、食事をしていました。ワークショップでは、そんな時代を超えた土器のかけらを使います。お楽しみに!



竹島水族館 Aquarium

☎ 68-2059



不思議な魚を入手したのですが、名前を覚えるのに苦労しました。アウストロレピアス・ニグリピニスという宇宙語の魚。大きさが3センチ。小さいくせに名前が長い。名前も不思議ですが生態も変わっており、ブラジルの雨季と乾季の差が激しい場所の水たまりに住んでいます。乾季になると水たまりの水は干上

館長の
ひつじょう



小林 龍二

がり、この魚はカリカリのミイラになって死にます。何のこだわりがあつてそんなところに住んでいるのかも不思議ですが、干上がる前の水たまりでこの魚は文字通り必死で産卵をします。水が無くなり親はミイラ死ですが、驚くことに産んだ卵は土の中で乾季をやりすごし、ふたたび雨季になり水たまりができると水の刺激で卵から生まれるのです。すごい能力。その能力をもっと別で発揮すればそんな過酷な所に無理に住まなくてもいいのにとおもいます。この生態は田んぼのミジンコも同じです。田んぼに水が入ると卵から産まれます。

飼育下では水槽の水は干上がないので、産卵した卵は水から出して意図的に乾燥させて3〜4カ月の乾季状態を作り、その後頃合いを見て水に浸けます。この乾燥期間中に飼育者は卵の事を忘れてしまわないように気をつけなければいけません。忘れそうなので、今は水槽裏で大事に飼っています。たくさん増えたら展示しますね。